

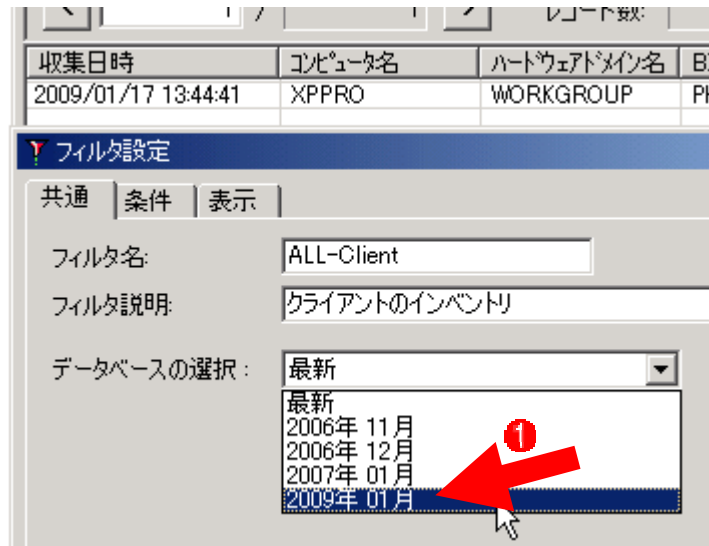
DotCOE データベース削除ツールの使い方

◆ツール概要

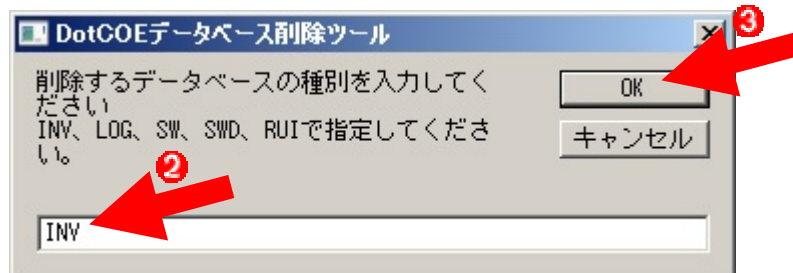
このツールは、DotCOE 環境において、不要なデータベースを削除する為のツールです。

◆手順

1. DotCOE サーバに管理者権限を持ったアカウントでログオンしてください。
2. 削除したいデータベースを確認してください。削除したいデータベースを確認したら、DotCOE 管理コンソールは終了してください。ここでは、2009 年 01 月のデータベースを消す前提で説明します。



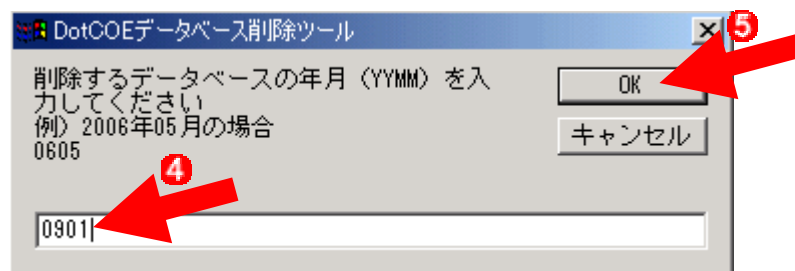
3. 「DotCOEV2DBDelete.VBS」を実行してください。
4. 「削除するデータベースの種別を入力してください」と表示されます。
ここでは半角英字で「INV」と入力し「OK」ボタンを押下してください。



削除可能 DB は下記内容です。

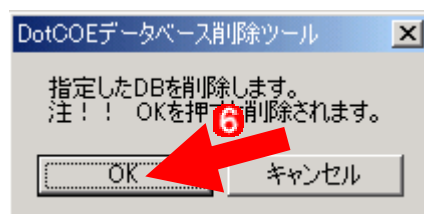
- INV → インベントリ DB
- LOG → ログ DB
- SW → 旧 SafeWatchDB(Ver2.0 の SafeWatch)
- SWD → DotCOE Ver3 以降の SafeWatchDB
- RUI → AssetReport DB

5. 「削除するデータベースの年月(YMMM)を入力してください」と表示されます。
ここでは半角数字で「0901」と入力し「OK」ボタンを押下してください。
※指定した年月以外のデータベースは削除されません。



6. 確認画面が表示されます。よろしければ「OK」ボタンを押下してください。

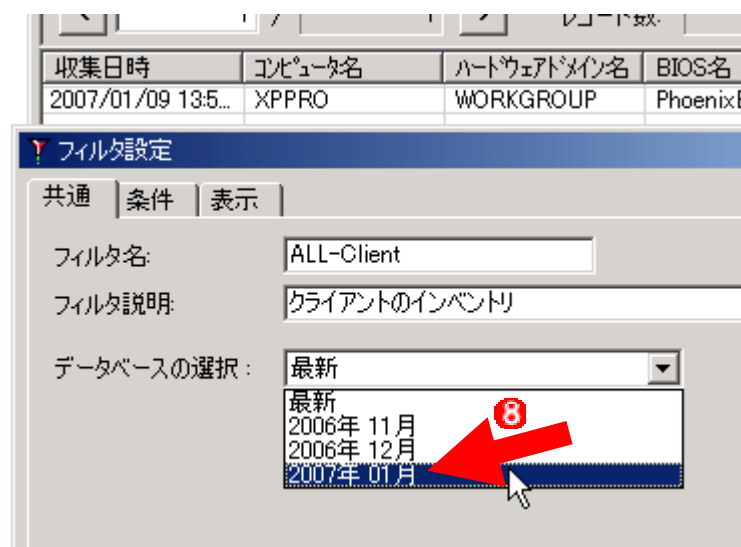
※削除したデータベースは元に戻せませんので注意してください。



7. 削除が正常に行われると以下の画面が表示されます。「OK」ボタンを押してメッセージボックスを閉じてください。



8. 削除完了後、DotCOE 管理コンソールを起動し、データベースが削除されていることを確認してください。
ここでは、2009年1月のデータベースが削除され項目から無くなっている事を確認できます。



9. 以上で不要なデータベースの削除は終了です。

SWD(SafeWatch DB)削除後に、SafeWatch ログビューアーの検索画面で下記のエラーが発生する場合があります。この場合は管理コンソールの「SafeWatch システム設定画面」の保存ボタンをクリックします。
この対応でエラーが改善されることを確認ください。

